



REAL LOGISTICS

Being Group

2024年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ビーイングホールディングス
(東証 スタンダード市場 9145)

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※端数の処理について、単位未満を切捨て、パーセントは小数点第一位未満を切捨てとしております。

- Summary

- I ... 2024年12月期第 1 四半期連結業績実績

- II ... Topic

- III... 2024年12月期連結業績予想

- IV... 成長戦略

- Appendix

- (会社概要、特長・強み、成長戦略)

2024年12月期第1四半期 連結業績実績

- ・ 業務拡大により営業収益は堅調に推移
- ・ 各段階利益は新規業務の立上げや震災によるコスト増もあったが堅調に推移

営業収益

69.3億円
前年同期比
+19.4%

営業利益

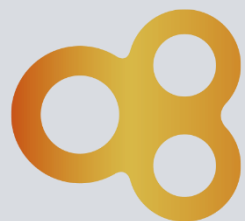
3.3億円
前年同期比
+16.7%

経常利益

3.3億円
前年同期比
+13.6%

親会社株主に
帰属する
四半期
純利益

1.7億円
前年同期比
+9.4%



REAL LOGISTICS
Being Group

I

2024年12月期第1四半期

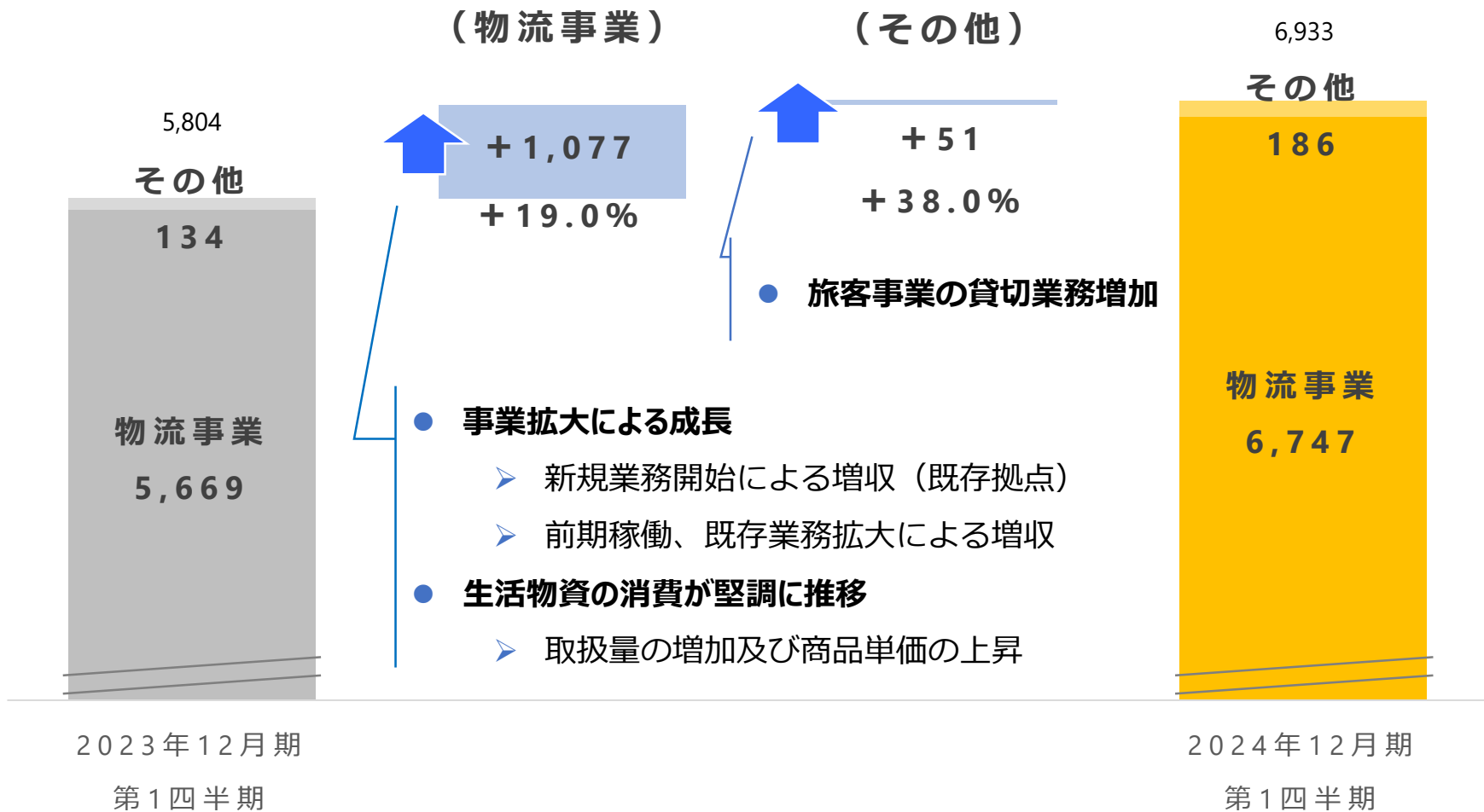
連結業績実績

2024年12月期第1四半期 損益状況（前年同期比）

[百万円]	2023年12月期 第1四半期 実績		2024年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	5,804		6,933		+1,128	+19.4%
営業原価	5,215	89.8%	6,240	90.0%	+1,025	+19.6%
営業総利益	588	10.1%	692	9.9%	+103	+17.5%
販管費	303	5.2%	359	5.1%	+55	+18.3%
営業利益	285	4.9%	332	4.7%	+47	+16.7%
営業外収益	15	0.2%	17	0.2%	+2	+15.2%
営業外費用	7	0.1%	17	0.2%	+10	+130.9%
経常利益	292	5.0%	332	4.8%	+39	+13.6%
特別利益	1	0.0%	1	0.0%	△0	△9.5%
特別損失	—	—	0	0.0%	+0	—
法人税等	108	1.8%	130	1.8%	+22	+20.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	160	2.7%	175	2.5%	+15	+9.4%

2024年12月期第1四半期 損益状況 | 営業収益増減要因分析

[百万円]	2023年12月期 第1四半期 実績 金額	2024年12月期 第1四半期 実績 金額	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	5,804	6,933	+1,128	+19.4%



月次営業収益の推移

季節性により12月は繁忙期となる一方、翌1月2月は反動で閑散期となる

物流基盤の拡大、シェアアップの効果により月次での収益基盤が拡大

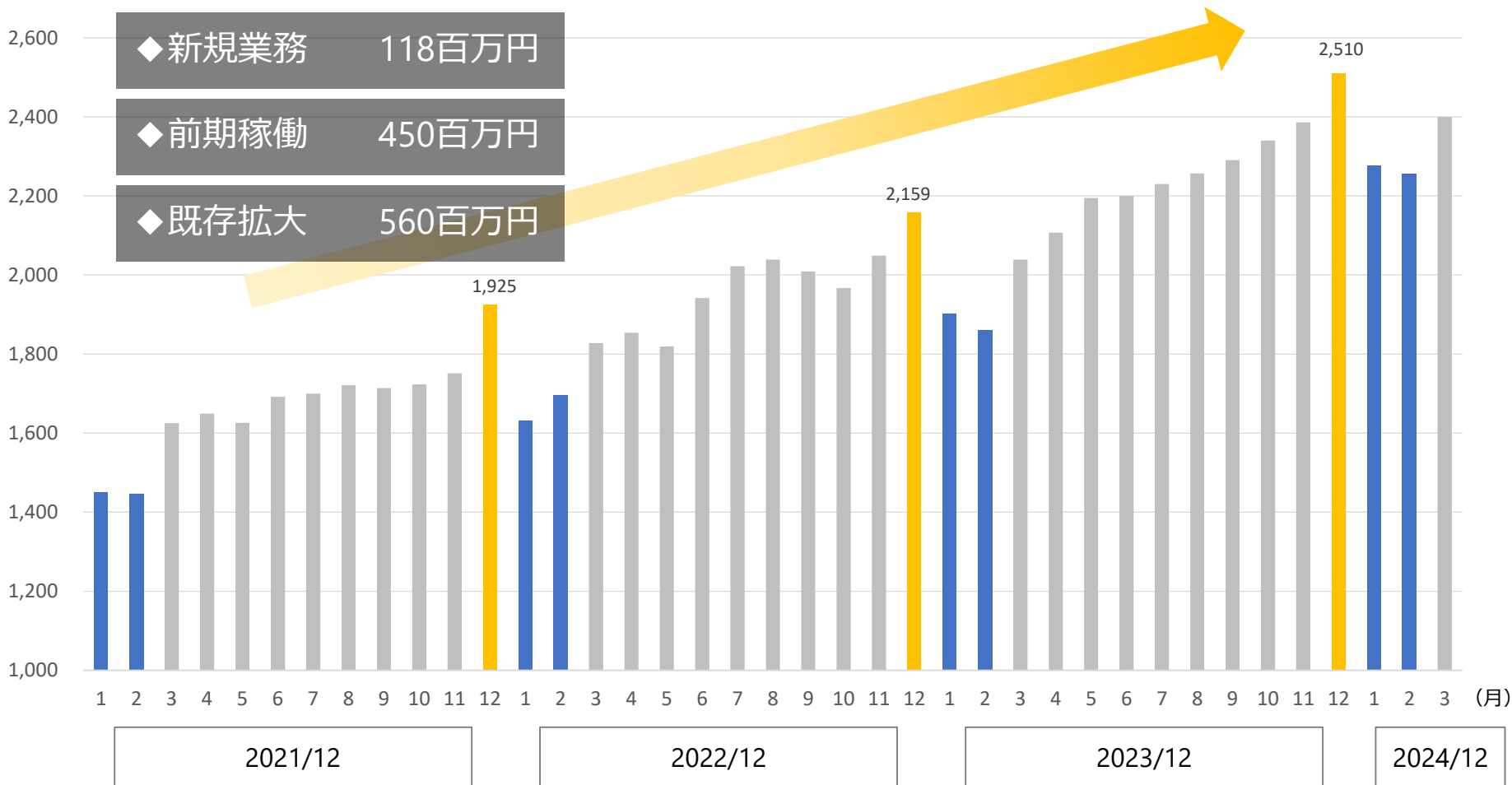
(百万円)

2024年12月期第1四半期増加分

◆ 新規業務 118百万円

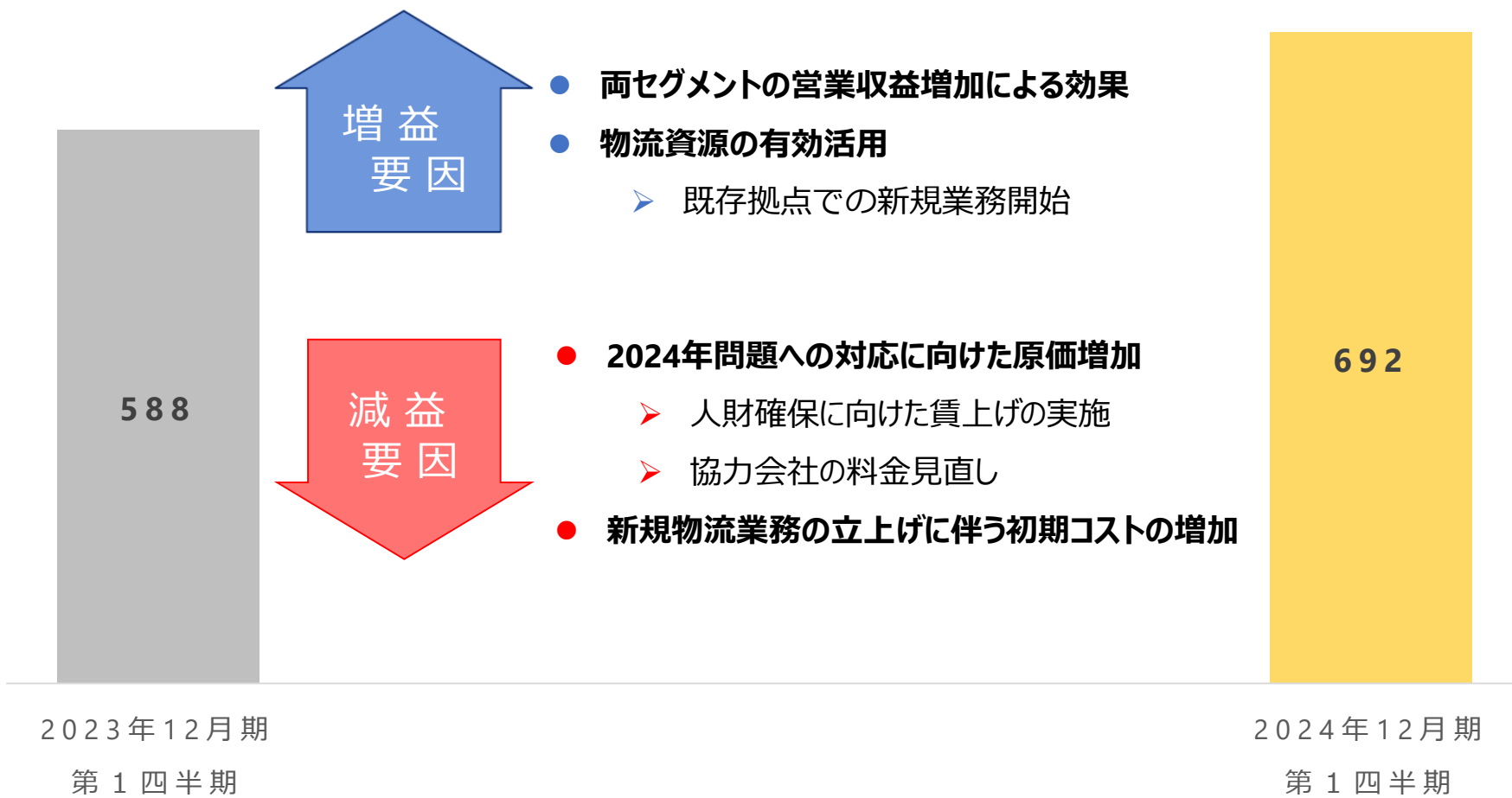
◆ 前期稼働 450百万円

◆ 既存拡大 560百万円



2024年12月期第1四半期 損益状況 | 営業総利益増減要因分析

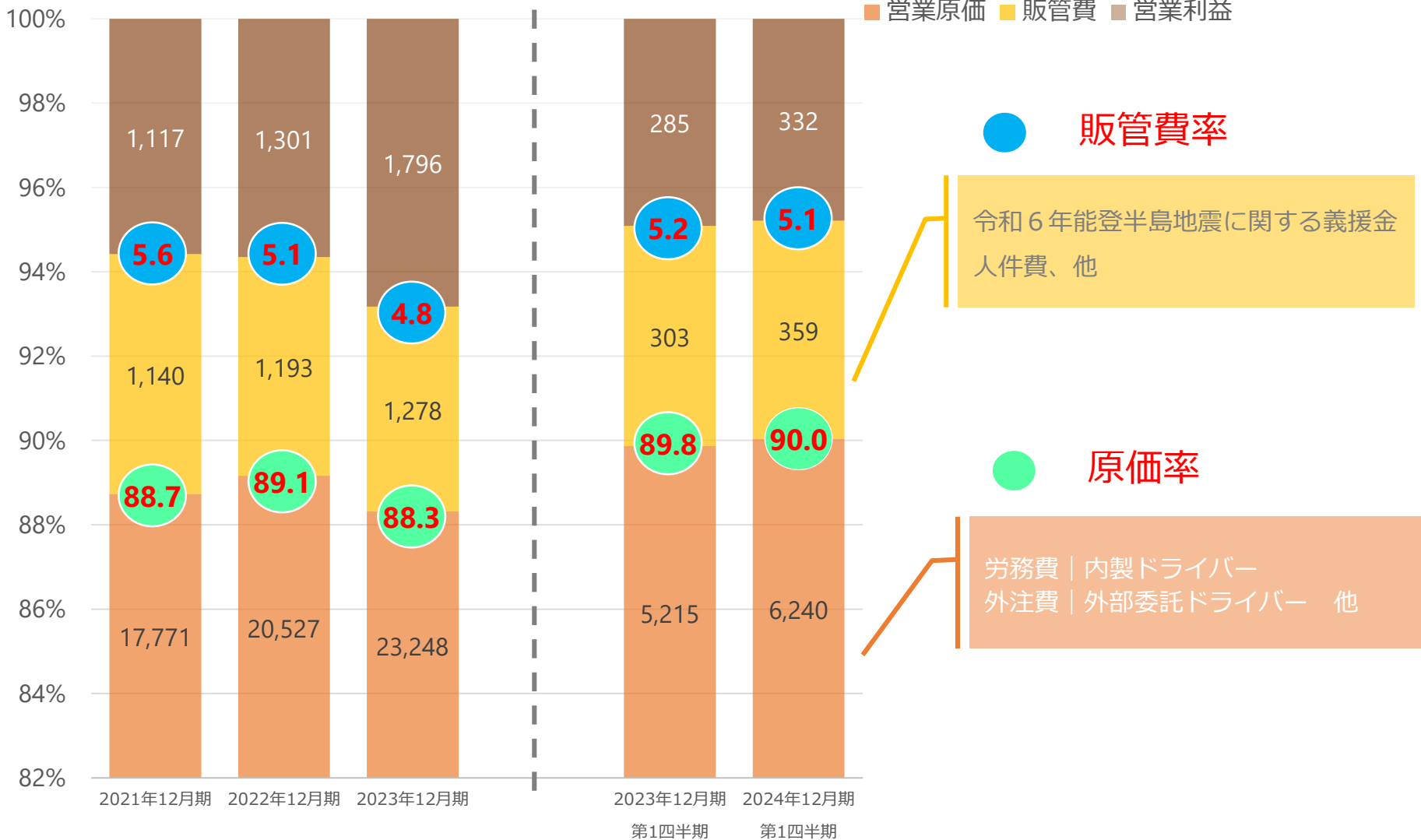
[百万円]	2023年12月期 第1四半期 実績		2024年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業総利益	588	10.1%	692	9.9%	+103	+17.5%



2024年12月期第1四半期 損益状況 | 利益構造

利益構造の推移

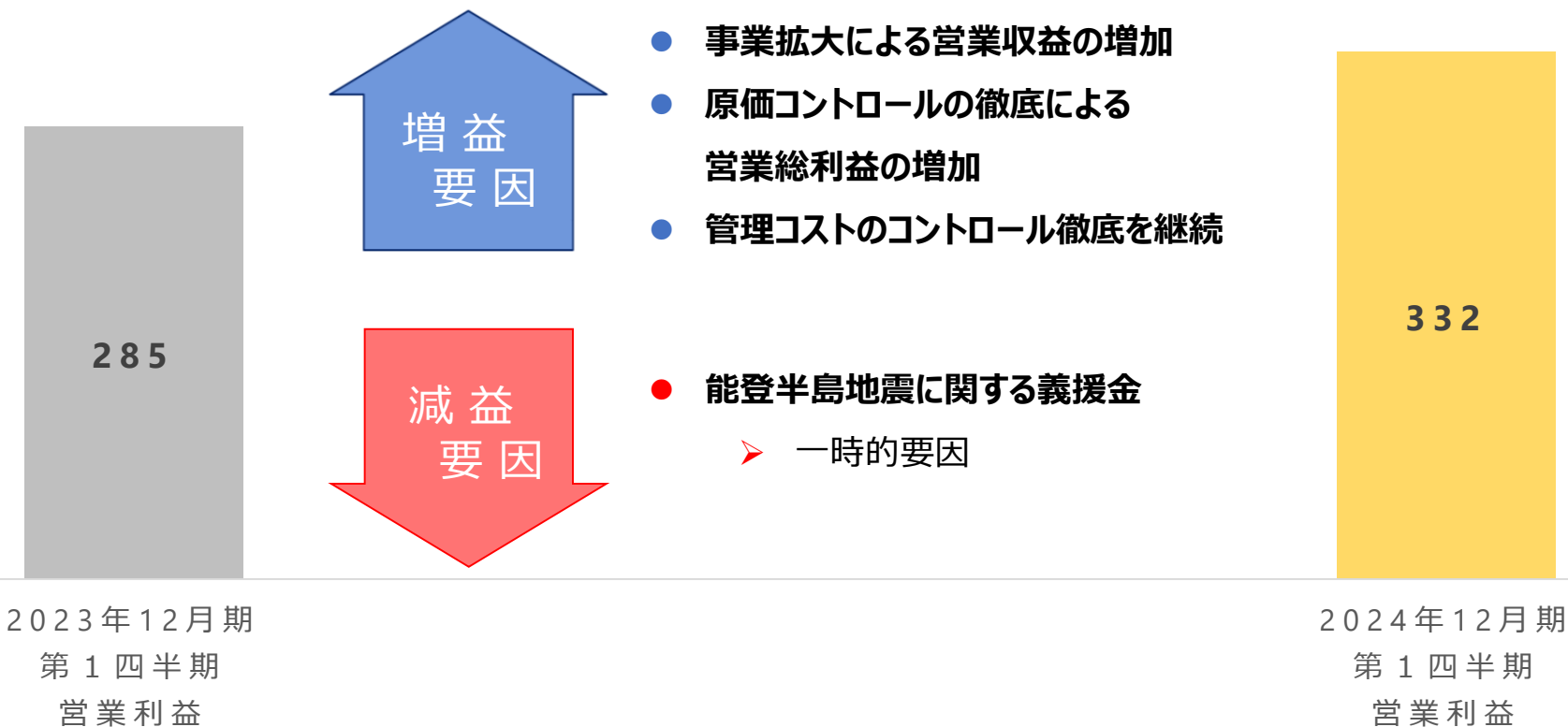
[百万円]



2024年12月期第1四半期 損益状況 | 営業利益増減要因分析

[百万円]	2023年12月期 第1四半期 実績		2024年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業利益	285	4.9%	332	4.7%	+47	+16.7%
経常利益	292	5.0%	332	4.8%	+39	+13.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	160	2.7%	175	2.5%	+15	+9.4%

- 事業拡大による営業収益の増加
- 原価コントロールの徹底による営業総利益の増加
- 管理コストのコントロール徹底を継続
- 能登半島地震に関する義援金
 - 一時的要因



営業利益率の四半期推移

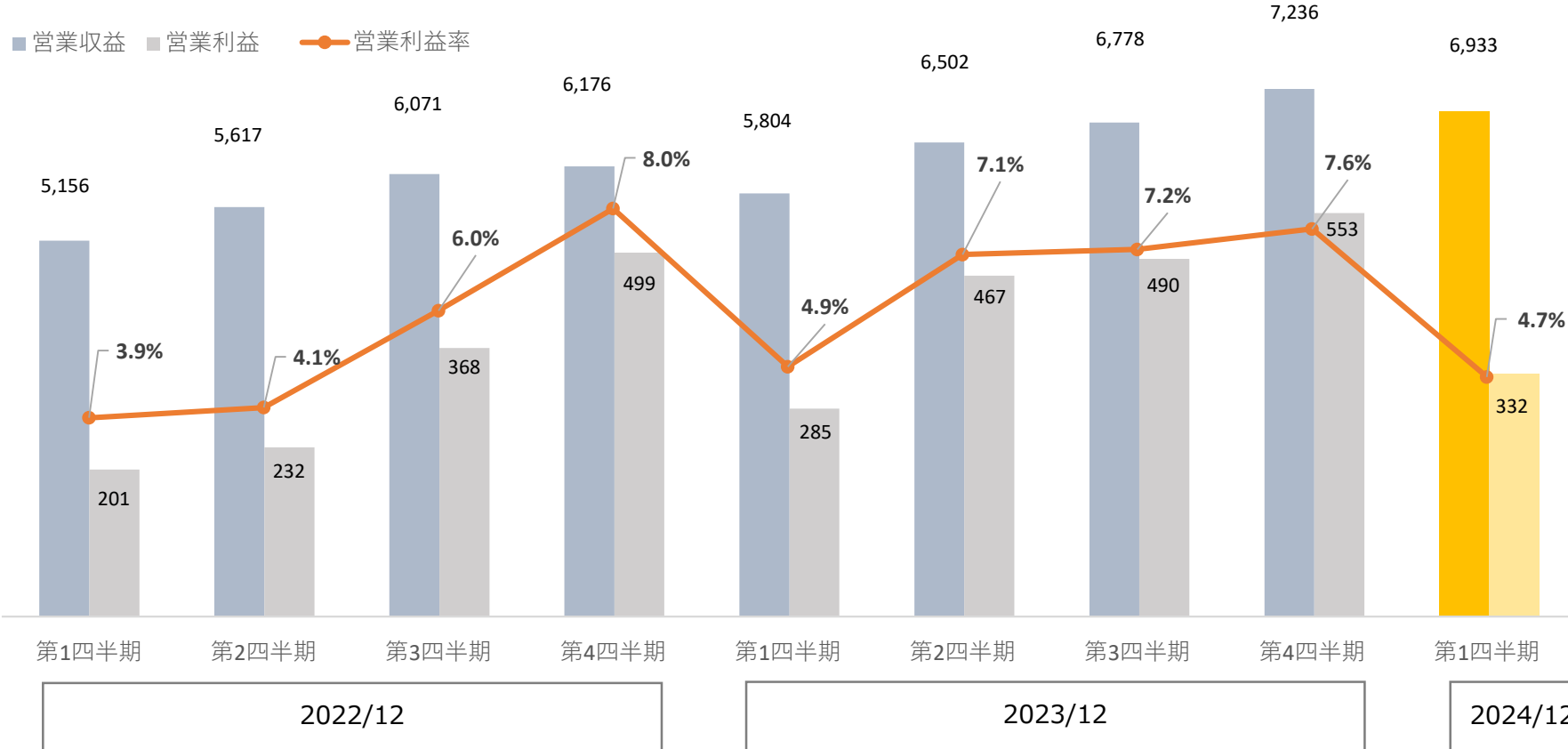
営業利益率向上の取り組み

- ・これまで「Jobs」に蓄積されたデータを分析し、予測される物量に合わせ原価コントロールを徹底
- ・物流資源の有効活用（既存拠点での新規業務開始）

2024年12月期第1四半期

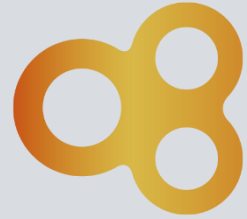
- ・業務拡大により営業収益は堅調に推移
- ・営業利益は前年同期比で増益となったが、新規業務の立上げや震災によるコスト増が影響し営業利益率は若干低下

(百万円)



2024年12月期第1四半期 財務状況（前期末比）

[百万円]	2023年12月期末		2024年12月期 第1四半期末		前期末比		主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	7,651	45.4%	7,858	45.5%	+207	+2.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・営業未収入金 $\Delta 87$ ・現金及び預金 +284
固定資産	9,193	54.5%	9,412	54.4%	+218	+2.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・建設仮勘定 $\Delta 31$ ・機械装置及び運搬具 $\Delta 15$ ・リース資産 +130 ・建物及び構築物 +94 ・土地 +35
資産合計	16,845	100.0%	17,270	100.0%	+425	+2.5%	
流動負債	7,634	45.3%	6,319	36.5%	$\Delta 1,314$	$\Delta 17.2\%$	<ul style="list-style-type: none"> ・1年内返済予定の長期借入金 +222 ・短期借入金 $\Delta 1,000$ ・その他流動負債 $\Delta 267$ ・未払法人税等 $\Delta 192$
固定負債	3,001	17.8%	4,781	27.6%	+1,780	+59.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金 +1,676 ・リース債務 +102
負債合計	10,636	63.1%	11,101	64.2%	+465	+4.3%	
純資産合計	6,209	36.8%	6,169	35.7%	$\Delta 39$	$\Delta 0.6\%$	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金 $\Delta 27$ ・非支配株主持分 $\Delta 14$
負債・純資産合計	16,845	100.0%	17,270	100.0%	+425	+2.5%	
自己資本比率	35.1%		34.1%		$\Delta 1.0\text{pt.}$		



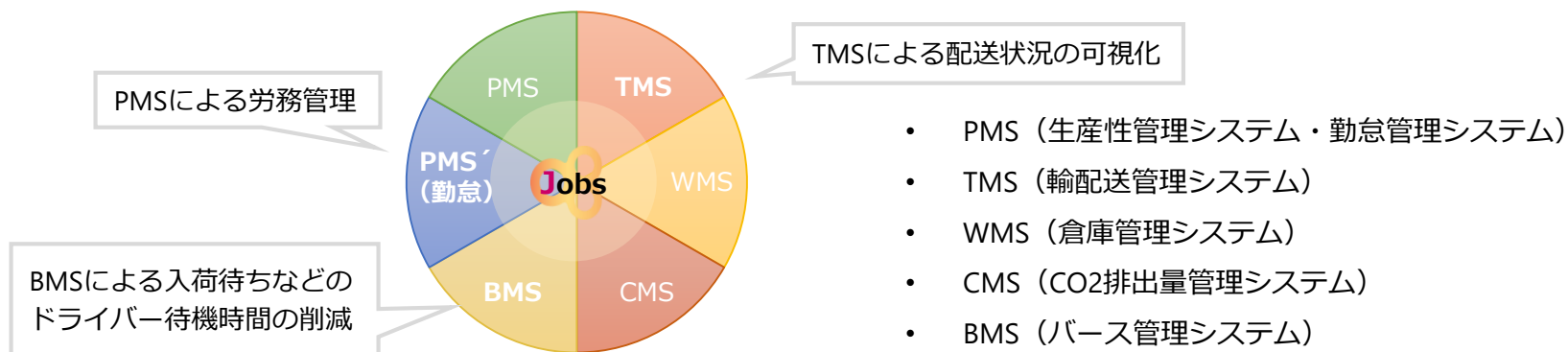
REAL LOGISTICS
Being Group

II

Topic

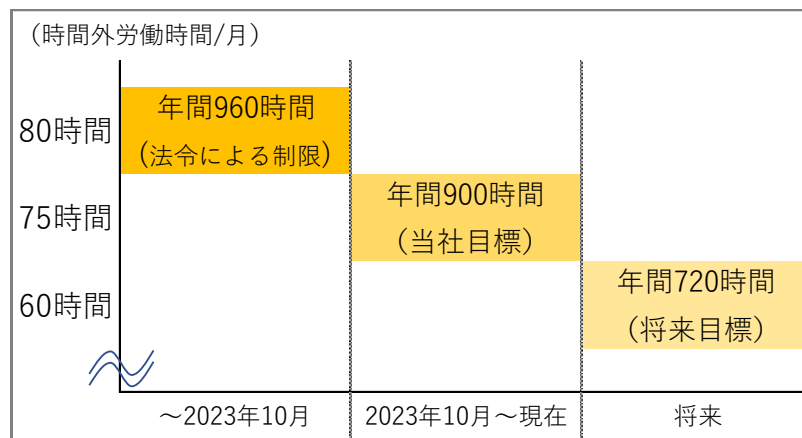
Topic 1 「2024年問題」への対応

■ 物流総合システム「Jobs」による物流DX化・見える化



■ 2019年より先行対応（ドライバーの時間外労働時間の段階的削減）

- ドライバーの時間外労働時間を段階的に引き下げ、将来的に時間外労働時間年間720時間以内を目指す
- 日次、週次、月次での配送業務の合理化を推進
- ドライバーを含めた全従業員の賃上げを実施



「運ばない物流®」をはじめとしたサプライチェーンの合理化を推進し、生活物資の安定供給に努めてまいります。

Topic 2 サステナビリティへの取り組み

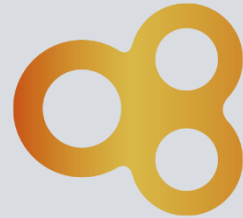
■ 2024年3月 石川・福井・群馬の3拠点で太陽光発電パネルが稼働

- すべての自社センターにおいて太陽光パネルを設置、稼働

	白山第1・2センター	福井SCMセンター	北関東SCMセンター	3拠点合計	グループ合計
住所	石川県 白山市	福井県 吉田郡 永平寺町	群馬県 前橋市	-	-
設置面積 (㎡)	3,617	1,550	1,302	6,607	10,757
設置パネル枚数 (枚)	1,400	600	504	2,506	4,106
発電能力 (kW)	777	333	280	1,390	2,262
年間発電見込量 (MWh)	582.6	204.8	278.3	1,065.6	1,609.0
年間電力消費量 (MWh)	2,345.6	650.0	1,022.1	4,017.8	5,747.4
年間電力量削減率 (%)	24.8%	31.5%	27.2%	26.5%	28.0%
年間CO2削減量 (トン)	256.9	90.3	122.7	469.9	709.6
蓄電池 (kWh)	15	15	15	45	75
稼働開始日	3月1日	3月1日	3月29日	-	-



※ グループ合計には、金沢本社・金沢SCMセンター、および、白山第3センターのデータを含みます。



REAL LOGISTICS
Being Group

Ⅲ

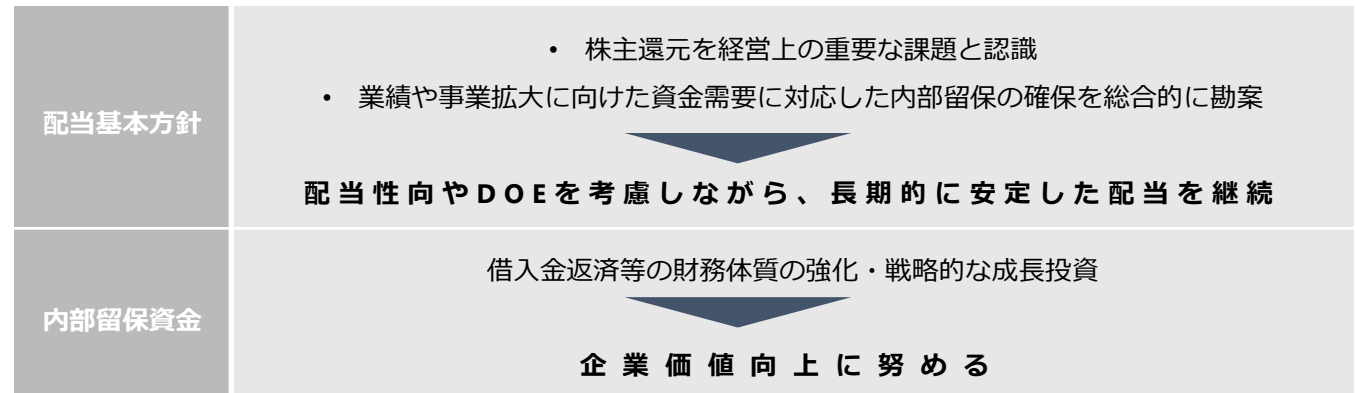
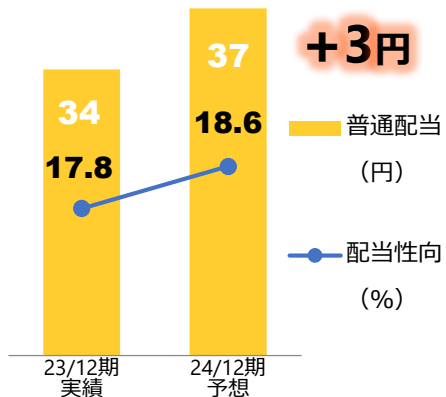
2024年12月期

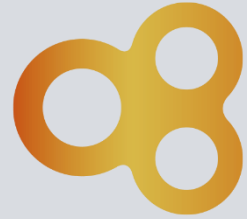
連結業績予想

2024年12月期連結業績・配当予想

■ 期初予想から変更なし

[百万円]	2023年12月期 実績		2024年12月期 予想		前期比		2024年12月期 通期予想比 (第1四半期)		(参考) 2023年12月期 通期実績比 (第1四半期)	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率	進捗率	実績額	進捗率	実績額
営業収益	26,322		29,500		+3,177	+12.0%	23.5%	6,933	22.0%	5,804
営業利益	1,796	6.8%	1,850	6.2%	+53	+2.9%	17.9%	332	15.8%	285
経常利益	1,817	6.9%	1,880	6.3%	+62	+3.4%	17.7%	332	16.1%	292
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,123	4.2%	1,180	4.0%	+56	+5.0%	14.8%	175	14.2%	160
1株当たり 当期純利益 [円]	190. ⁵⁶		197.⁹⁰							





REAL LOGISTICS
Being Group

IV

成長戰略

2024年12月期も3つの成長戦略を継続

成長戦略 1

生活物資に特化した物流への経営資源の集中投資

- ◆ 既存顧客内での当社シェアアップに注力
- ◆ オーガニックな成長に加えM & Aによる拡大も検討

成長戦略 2

関東から**全国への展開**を見据えた物流基盤の構築

- ◆ 既存エリアの受託業務拡大（点から面への拡大）
- ◆ 中長期的に全国に物流拠点開設を目指す
- ◆ 年間4～8の新規業務開始（新規・既存拠点）を目指す
（既存拠点の物流資源の有効活用も含め、収益基盤のさらなる拡大に注力）

成長戦略 3

量の拡大と質の変革による**長期成長イメージ**

- ◆ 将来を見据えAI・ITを導入した物流システムの構築
- ◆ 「Jobs」の機能を拡張し、物流の高度化を推進する